

CLUSTERPRO ファイルサーバ監視オプション for Linux R3.0

アップデート手順書
CPRO-LXS630-02用 第1版

1 はじめに

この手順書は 以下の製品の CPRO-LXS630-02 アップデートの手順書です。

* CLUSTERPRO ファイルサーバ監視オプション for Linux R3.0 UL4006-206



- ・本アップデートモジュールは、IA32サーバ、x86_64サーバ用のCLUSTERPRO ファイルサーバ監視オプションです。IA64サーバでCLUSTERPRO ファイルサーバ監視オプションをご使用になられている場合は、本アップデートは適用しないでください。
- ・CLUSTERPRO ファイルサーバ監視オプション for Linux R1.0 (UL4006-006)
CLUSTERPRO ファイルサーバ監視オプション for Linux R2.0 (UL4006-106)
には本Updateを適用しないでください。

本アップデート適用後は、システム構築ガイドは下記の版をご参照ください。

+ ファイルサーバ監視オプション編 第3版以降

必ず最新版のシステム構築ガイドを入手してください。以下のURLに掲載されています。

<http://www.ace.comp.nec.co.jp/CLUSTERPRO/>
[ダウンロード]→[Linuxに関するもの]→[CLUSTERPRO for Linux Ver3.x
監視オプション編ドキュメント]

2 アップデートの適用が可能なバージョン

2.1 すでに運用中の場合

以下の手順で全サーバのCLUSTERPRO ファイルサーバ監視オプションのバージョンを確認します。

- (1) サーバにrootでloginします。
- (2) rpmコマンドを実行します。

```
rpm -qi clusterpro-fsmon <return>
```

- (3) rpmの実行結果が表示されます。VersionとReleaseを確認してください。

(rpmコマンドの実行結果の例)

Name	: clusterpro-fsmon	Relocations:	(not relocateable)
Version	: 3.0	Vendor:	(none)
Release	: 2	Build Date:	2005年02月03日 16時41分45秒
Install date:	2005年03月23日 18時13分33秒	Build Host:	uxg34
Group	: Applications/System	Source RPM:	clusterpro-fsmon-3.0-2.src.rpm
Size	: 299713	License:	commercial
Summary	: CLUSTERPRO File Server Agent		
Description	: CLUSTERPRO File Server Agent module		

このバージョンが以下の場合には本アップデートが必要です。下記以外のバージョンのCLUSTERPRO ファイルサーバ監視オプションには本アップデートを適用しないでください。

- * **Version 3.0**
= **Release 2**

本アップデート適用後には以下のバージョンになります。

- * **Version 3.0**
= **Release 3**

2.2 新規にインストールをする場合

ダウンロードしたrpmファイルを使用してインストールしてください。

本アップデートのrpm

(IA32サーバの場合)

+ **clusterpro-fsmon-3.0-3.i386.rpm**

(x86_64サーバの場合)

+ **clusterpro-fsmon-3.0-3.x86_64.rpm**

本アップデートをダウンロードした場合は、以下のrpmはインストールしないでください。

(IA32サーバの場合)

+ **clusterpro-fsmon-3.0-2.i386.rpm**

(x86_64サーバの場合)

+ **clusterpro-fsmon-3.0-2.x86_64.rpm**

3 アップデート手順

現在の使用状態によってアップデートの手順が異なりますので、それぞれの手順をよく読んで実行してください。

新規にファイルサーバ監視オプションをインストールする場合

本書 3.1 と 3.3 を参照してください

すでに運用中のファイルサーバ監視オプションにアップデートを適用する場合

本書 3.2 と 3.3 を参照してください

3.1 CLUSTERPRO ファイルサーバ監視オプションを新規インストールする場合



ファイルサーバ監視オプションのインストール時には、CLUSTERPRO に最新のアップデートを適用してください。
ファイルサーバ監視オプションの動作環境については、「システム構築ガイド ファイルサーバ監視オプション編」を参照してください。

rootユーザで以下(1)～(3)の手順を監視オプションをインストールするすべてのサーバで行います。

- (1) ダウンロードして解凍処理を行ったrpmファイル(本アップデート)を置いたディレクトリに移動します。

```
cd <rpmファイルを置いたディレクトリ>
```

- (2) 以下のコマンドを実行してインストールを行ってください。
(IA32サーバの場合)

```
rpm -i --nodeps clusterpro-fsmon-3.0-3.i386.rpm
```

(x86_64サーバの場合)

```
rpm -i --nodeps clusterpro-fsmon-3.0-3.x86_64.rpm
```

- (3) 「システム構築ガイド ファイルサーバ監視オプション編 ライセンス登録」の手順を継続してください。

3.2 すでに運用中のCLUSTERPRO ファイルサーバ監視オプションにアップデートを適用する場合

ファイルサーバ監視オプションを使用してCLUSTERPROでファイルサーバ監視を行っている最中、ファイルサーバ監視オプションのアップデートを行うと、アップデート処理が正常に終了しないことがあります。

以下のいずれかの方法でアップデートを適用してください。



- 1) ファイルサーバ監視オプションを使用してファイルサーバ監視を行っているフェイルオーバーグループを停止した後、アップデートを適用する
 1. フェイルオーバーグループを停止する
 2. アップデートを適用する
 3. フェイルオーバーグループを開始する
- 2) ファイルサーバ監視オプションを使用してファイルサーバ監視を行っているフェイルオーバーグループを、アップデート処理を行っていないサーバ側に移動させてアップデートを適用する
例. 2ノードクラスタ構成(サーバ名: Server1、Server2)の場合
 1. Server1のフェイルオーバーグループをServer2に移動する
 2. Server1にアップデートを適用する
 3. フェイルオーバーグループをServer2からServer1に移動する
 4. Server2にアップデートを適用する

rootユーザで以下(1)～(2)の手順を監視オプションをアップデートするすべてのサーバで行います。

- (1) ダウンロードして解凍処理を行ったrpmファイル(本アップデート)を置いたディレクトリに移動します。

```
cd <rpmファイルを置いたディレクトリ>
```

- (2) 以下のコマンドを実行してアップデートを行ってください。

(IA32サーバの場合)

```
rpm -U --nodeps clusterpro-fsmon-3.0-3.i386.rpm
```

(x86_64サーバの場合)

```
rpm -U --nodeps clusterpro-fsmon-3.0-3.x86_64.rpm
```

3.3 アップデートの確認

アップデートを行なったすべてのサーバで、2.1 CLUSTERPRO ファイルサーバ監視オプションのバージョン確認の手順で、下記のバージョンになっていることを確認してください。

- * Version 3.0
= Release 3

4 強化/修正機能

本章では、アップデートによる強化項目および障害情報を記載します。
今回のアップデートの機能追加および障害情報は | の項目になります。

4.1 強化項目

- (1) IA64サーバ用のファイルサーバ監視オプションを新規追加しました。
- (2) ユーザ名/パスワード管理機能を追加しました。
監視コマンドのパラメータにパスワードを指定せず、パスワード情報をファイルに保存しておくことにより、パスワードの漏えいを防ぐ機能を追加しました。

4.2 修正項目

修正項目はありません。